

核融合フォーラム第3回全体会議
平成18年3月20日(月)
経団連会館 国際会議場(東京)

ITER及びBA計画に対する意見と要望

核融合フォーラム
運営会議議長
佐藤 文隆

核融合フォーラム
調整委員会・委員長
香山 晃

はじめに

佐藤文隆運営会議議長へ「ITER及びBA計画に対する意見と要望」が核融合フォーラム調整委員会より出された。

要望書は下記のクラスターから調整委員会への要望を取りまとめたものである。

- ・核融合炉工学研究開発の充実化に向けて： **炉工学クラスター**
- ・原型炉設計・研究開発調整センターと設置後の国内体制に関する要望：
- わが国の核融合原型炉早期実現に向けて - **核融合の早期実用化クラスター**
- ・核融合研究開発の啓発活動の充実： **社会と核融合クラスター**
- ・我が国の核融合プラズマ物理研究を充実しITER計画へ貢献するために：
プラズマ物理クラスター

本要望書は本日の運営会議で基本承認された。

本日の議論等を反映させ、最終版を作成し、提出される予定である。

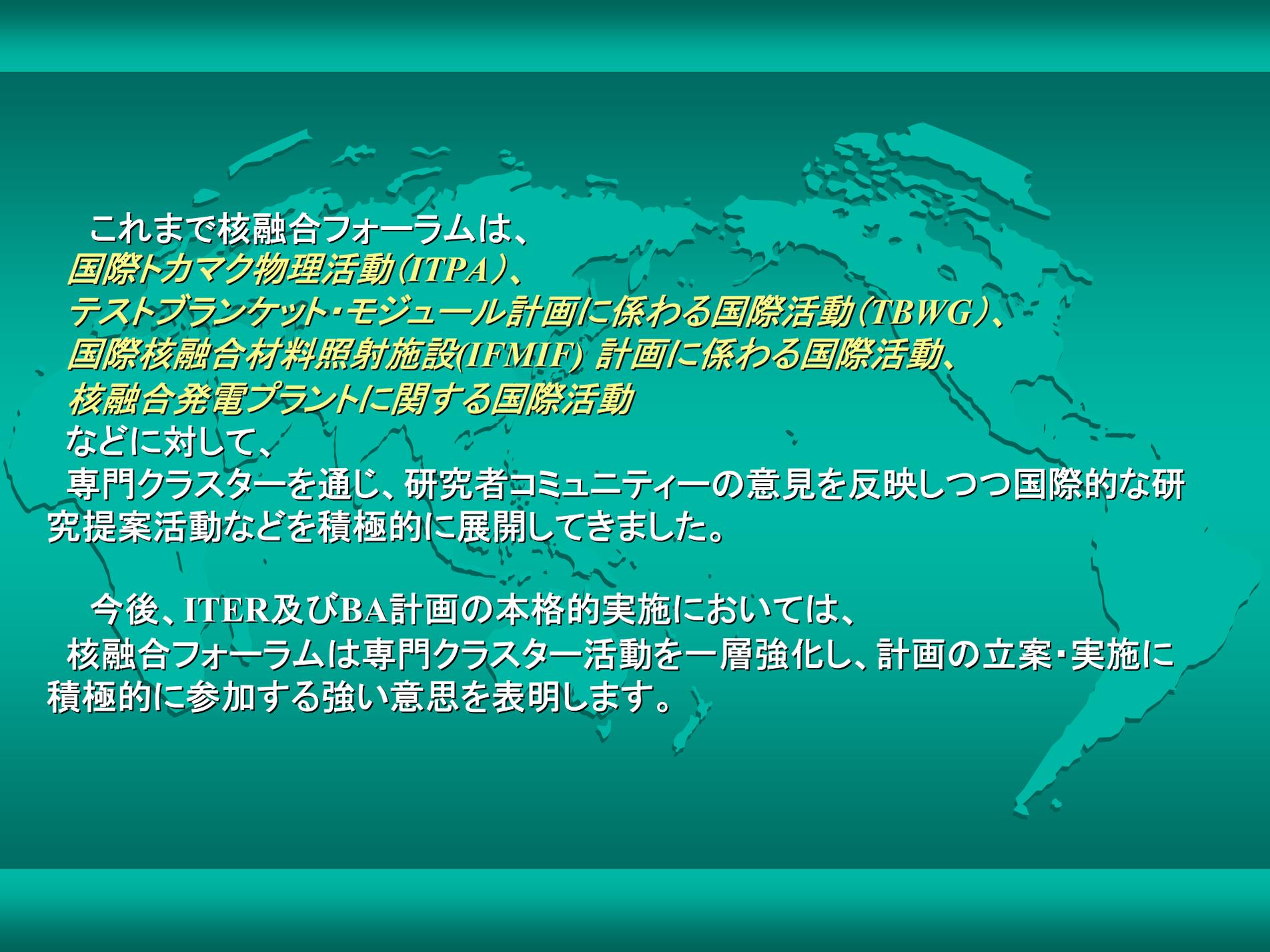
意見と要望

- ITER及びBA計画の実施に向けて -

ITER及び幅広いアプローチ（BA）計画につきまして、△△殿におかれましては、格段のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ITER及びBA計画は国際協力と国際競争の両面を持つことはご存知の通りです。わが国の核融合に関する研究及び産業基盤を発展させつつ、優秀な人材の確保と育成を通して両計画に貢献し、国際的なリーダーシップを継続して確保していくためには、国内での核融合研究開発に係わる総合的な実施・支援体制の構築が不可欠です。

ITER計画の極内機関・BA計画の実施機関となる予定の日本原子力研究開発機構と、大学、研究機関、産業界などは連携協力し、核融合フォーラムを活用して計画立案・実施・評価等が的確に行える全日本的な体制の構築を進めて頂きたいと要望します。



これまで核融合フォーラムは、
国際トカマク物理活動(ITPA)、
テストブランケット・モジュール計画に係わる国際活動(TBWG)、
国際核融合材料照射施設(IFMIF) 計画に係わる国際活動、
核融合発電プラントに関する国際活動
などに対して、
専門クラスターを通じ、研究者コミュニティの意見を反映しつつ国際的な研究提案活動などを積極的に展開してきました。

今後、ITER及びBA計画の本格的実施においては、
核融合フォーラムは専門クラスター活動を一層強化し、計画の立案・実施に積極的に参加する強い意思を表明します。

これらの核融合フォーラムからの提案は、原子力委員会「第三段階核融合研究開発基本計画」に基づくもので、新たな予算措置を伴うものを含みます。

このため、文部科学省においては、これらの提案に対して国としての対応ができるように、重要性や緊急性を斟酌して投資配分などを調整し、かつ、適正な評価を行う制度と必要な会議体について、速やかに検討に着手し設立することを要望致します。

平成18年*月**日

核融合フォーラム
運営会議議長

佐藤 文隆